

宿泊療養施設を利用される患者様へ

準備物

- 健康保険証
- 携帯電話
- 携帯電話の充電器
- 現在飲んでいるお薬・お薬手帳(持病の内服薬等は残数に余裕をもってご持参ください)
- 下着
- パジャマ もしくは部屋着
- 金属のついていない服や下着 1 着(外来受診に備え、お持ちの方はご持参ください)
- 履物(スリッパ)
- タオル、バスタオル
- 眼鏡、コンタクト、補聴器、義歯、スキンケア用品、生理用品など
- 筆記用具
- マスク (不織布)
- お茶(ティーバッグ)やコーヒー、おやつなどの嗜好品(電気ポットをご利用いただけます)
- 本やゲームなどの娯楽品

- ※ 刃物などの危険物の持ち込みはお断りいたします。
- ※ 電気ポット、ドライヤー、テレビ、ミニ冷蔵庫、wi-fi 等の備品や設備、機器はご利用いただけます。
- ※ 歯ブラシセット、ハンドソープ、シャンプー、カミソリ、洗濯用洗剤、ハンガー、掃除道具(居室、お風呂用)、ティッシュは準備してあります。(多く使われる方は、ご持参ください)
- ※ 症状次第では、医療機関への受診が必要となる場合があります。受診に備え、お持ちの方は金属のついていない服や下着を 1 着程度ご持参ください。
- ※ 入所・退所当日を除き、1 日 3 回決まった時間にお弁当と飲み物が提供されます。なお、食物アレルギーに対応した特別食の提供はできません。
- ※ 自動販売機や洗濯機はご利用いただけません。
- ※ 帰りの交通費程度の現金は必要になりますが、多額の現金持参はご遠慮ください。
(療養終了後はご自身で帰っていただきます。)
- ※ 荷物はご自身で持ち運べる量におさめてください。(運ぶ介助はできません)
- ※ 療養生活に必要なものは、ご自身で準備してください。
- ※ 施設には看護師が 24 時間常駐しており、毎日 2 回(朝・夕)の電話での健康観察があります。
- ※ 血液中の酸素の状態を正確に測るため、マニキュアは可能な限り落として入所してください。

裏面の注意事項もご確認ください。入所時に書面で同意書をいただいています。

療養中の注意事項

宿泊施設では、下記の注意事項に同意していただくから入所となります

- 宿泊療養中は、基本的に居室内で過ごしていただきます。
- 宿泊療養中は、宿泊施設の指定されたエリアから出ることはできません。
- ご家族等との面会はできません。また、宿泊療養されている方同士の接触は、なるべく避けるようお願いいたします。
- 居室が汚れた場合は、簡易的な掃除道具を準備しておりますので、ご自身で清掃してください。
- 洗濯は、ご自身が居室内にて手洗いでおこなってください。手洗いができない衣類等は、必要な枚数の着替えをご準備ください。
- 療養中に居室内から出る時は、必ずマスクの着用をお願いします。
- 宿泊療養中の飲酒・喫煙は厳禁です。
- ネットショッピング、デリバリーサービスの利用はできません。
- ご家族等からの差し入れなど、外部からの物品・食品等の持ち込みは原則できません。
- 療養中のご自身の貴重品や所持品は、ご自身で責任をもって管理してください。紛失・盗難について、熊本県や熊本市では一切責任を負いません。
- 療養中に宿泊施設の備品や設備等を、破損・紛失等された場合は、療養者ご自身に弁償いただくこととなります。
- 他の療養者のプライバシーに配慮いただき、SNS 等での施設名や所在地、施設内外の様子等がわかる写真・情報の書き込みや共有はご遠慮ください。
- 退所日の当日は、退所時間まで居室内で待機してください。
- 宿泊施設から自宅へ戻る際は、ご自身で帰っていただきます。
- その他、スタッフの指示に従って療養してください。